

# 富士河口湖町立 教育センターだより

No.22



平成30年3月16日 文責 遠山 榮子

## しろがね くがね し 銀も金も玉も何せむにまされる宝子に如かめやも

万葉集 卷五(八〇三)



梶原 憲十郎先生書

寄贈 平成17年10月

昨年度の教育センター便りでお知らせしました左写真は、蔵寶（ぞうほう）「どんな財宝より子どもは何よりも尊い宝」という意味で揮ごうされたものです。教育センター内の壁に掲げられ、教育センター開設以来、この教育センターを見守ってきています。昨年6月に来室した憲十郎先生が、「万葉集」に載っている歌と同じ意味だと、感慨深げに見ながらお話ししてくださいました。

3月14日（水）に、第2回運営協議会が開かれました。16名からなる運営協議会は、「蔵寶」「万葉の歌」と同様に、この教育センターを設立当初より見守ってきています。運営委員さん方からご意見をいただき、事業を推進していくことから、この運営協議会の存在意義は、大きいものです。小林裕之委員長を座長に、センター所長が、1回目にいただいた貴重なご意見も含めて、本年度の事業のまとめと課題を報告をさせていただき、話し合いました。主な内容は以下のとおりです。



教育委員さん相談室訪問

### ◆教育相談業務の充実と学校・教育センター・関係機関とのより密接な連携について

教育相談業務では、教室に居場所が見いだせず不登校また不登校傾向の児童生徒を理解し、居場所作りと学習支援・体験活動・登校に向かう支援、センターを巣立った人へのアフターフォロー、保護者の相談など多岐にわたって行ってきました。今後とも、家庭・学校・教育委員会・SSW・子育て支援課等と連携し、業務を遂行したいと思います。

## センターを巣立つ子どもたちへ



英語科 demo 授業

### ◆新学習指導要領への対応について

英語や道徳の教科化についての研修、英語科先行実施に向けての「デモ授業」、町単の英語支援教員とALTの配置計画等の取り組みを行いました。教育長・教育委員会・教育センター・学校が密接に連絡を取り合い、保護者のご理解をいただきながら、新学期、

良いスタートを切ることができるよう、さらに対応していきます。

### ◆河口湖新倉掘抜の教材化・新センタープログラムについて

富士山学習研究会において、4年生の河口湖新倉掘抜の学習で、富士山科学研究所との連携により、指導と評価が一体となった授業公開研究がなされ、新年度、新センタープログラムとして実施されるまでに至りました。

◆教育長からは、教育相談について、児童生徒だけでなく、社会に対して疎外感を感じている人に対しての「居場所づくり」「アフターフォロー」も教育センターに求められているのではないかという旨のお話を頂きました。時代を見据え、地域にある教育センターの役割はどうあるべきかを含めて検討しつつ、来年度も、事業を推進し、郷土を知り、郷土に誇りをもつ心豊かな児童生徒の育成に寄与していきたいと思っております。センターに関わっていただいた多くの皆様、本年度の教育センターへのご理解とご協力に対し、改めて感謝するとともに、新年度も引き続き、その責務を果たせるよう頑張っていきたいと思っております。ありがとうございました。🍀

人は思うよりも  
一人ぼっちじゃないんだ  
だいじょうぶだよ  
あなたらしく  
輝いてほしい  
新しいスタートを切った  
君に 幸あれ！